



日本歌曲とは



演奏会情報

♪ 藤田真有ソプラノリサイタル vol.2

日本の歌 ~ 北から南へ
2018年1月21日(日) 13:30 開演
東京日暮里サニーホールコンサートサロン
全席自由 2500円

■お問合せ：一般社団法人 東京国際芸術協会
☎03-6806-7108 FAX 03-3806-8555
<http://www.tiaa-jp.com>

ソプラノ 藤田真有

音楽の授業やこういったクラシック音楽の演奏会で歌われる「日本歌曲」の歴史について、皆様はご存知だろうか。誰もが口ずさんだことのある童謡、合唱曲、音楽の教科書に載っているあの曲この曲。これらは、実はヨーロッパのそれと比べるとあまり古いものではないのだ。遡れば幕末のペリー来航から、日本における西洋音楽史は始まった。急速に進められる明治維新。ヨーロッパに習って学校教育法も制定され、音楽も必修科目になった。しかし、教師はいないし歌う歌もない。そこで全国から集められた「才能あるんじゃない?」と思われる精鋭が、大急ぎで授業で歌える唱歌を作り、教鞭をとることのできる教師の育成を始めた。それが今日の東京藝術大学の前身である。山田耕筰のように日本政府の命を受けてド

イツに留学した若き音楽家たちは、現地の作曲技法を日本へ伝えた。オーケストラも作られた。かの太平洋戦争の最中にあっても、N響の定期演奏会は休まず開催された。日本の音楽教育は、子供達をこく自然な流れで音楽へ導く。無料で楽器を始められる最高の機会である吹奏楽も、日本の音楽人口を増やしている。日本語は、音の高低があまりなく、一つの音符に原則ひとつの子音と母音しか入れられない。一文歌い上げるのに8小節は必要だ。何気なく口にしてる母国語だからこそ、歌詞から新鮮な発見を音楽に落とし込むのが難しい。私の目標は、フレッシュで面白い日本歌曲を演奏することだ。あまり演奏機会のない曲を正しく美しく紹介していきたい。ミュージカルより楽しい今回のリサイタルにしたい。

リサイタルによせて ~ Méli-mélo ~ capricieusement

ヴァイオリン 佐藤玲果

この度初めてのリサイタルを開催させて頂けることになりました。春には高校を卒業しますが、この節目の時期にこれまで勉強してきたことを聴いて頂けることを、嬉しく思います。

このリサイタルに Méli-mélo ~ Capricieusement というサブタイトルをつけました。フランス語で Méli-mélo : ごちゃ混ぜ、capricieusement : 自由気ままに、という意味があります。これは、私自身が様々な年代の作曲家、様々な演奏スタイルの研究・勉強中であるということ、私自身も音楽の持つ柔軟さ、自由さの中で演奏をしたいという意味を含めました。

今回、様々な年代の曲をプログラムし

ました。無伴奏の曲、コンチエルトからの抜粋と、ヴァイオリンを勉強していく上でどれも欠かせない曲ばかりです。それぞれの時代に即し、それぞれの曲の良さを表現出来るよう試行錯誤を重ね、今私に出来る最大の演奏をしたいと思っています。

今回一緒にさせて頂く山崎早登美先生は、私が小学五年生の頃より伴奏をして下さっているピアニストです。先生のピアノの音はオーケストラのように幅広く、アンサンブルの楽しさをいつも教えて下さっています。先生との息の合った演奏も楽しんで頂けると幸いです。少しでも多くの方に聴いて頂きたいです。



演奏会情報

♪ 佐藤玲果ヴァイオリンリサイタル
Méli-mélo ~ capricieusement ~
2018年1月21日(日) 15:30 開演
東京日暮里サニーホールコンサートサロン
全席自由 2500円

■お問合せ：一般社団法人 東京国際芸術協会
☎03-6806-7108 FAX 03-3806-8555
<http://www.tiaa-jp.com>